

## 東京都障害者ピアサポート研修 専門研修 概要

## 4 ピアサポートの専門性の活用

獲得目標	●ストレングスなどの重要な視点を確認した上で、自身の経験の効果的な伝え方を学ぶことで、ピアサポートの専門性の活かし方を理解する。
------	--

時間	40分
対象	ピアサポーター、専門職

## &lt;伝えたいこと&gt;

- ・ピアの専門性を活かすために重要な視点を理解する。
- ・ピアの専門性の活かし方を具体的な例から学ぶ。

出所：平成30年度 厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業（身体・知的分野））  
障害者ピアサポートの専門性を高めるための研修に関する研究 専門研修テキスト

## 東京都障害者ピアサポート研修 専門研修 概要

## 4 ピアサポートの専門性の活用

伝えたいこと	講義の構成
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ピアサポートの専門性を活かすために重要な視点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 以下は、現在の利用者支援の前提となる考え方で、ピアサポートの専門性を活かすために重要な視点 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 馴染みのない方もいるため、専門的なカタカナ用語を前面に出すことは控える</li> </ul> </li> <li>□ 障害を理解する <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 医療モデル（国際障害分類：ICIDH）から統合モデル（国際生活機能分類：ICF）へ （例）「機能障害」⇒「心身機能・身体構造」</li> </ul> </li> <li>□ その人の強みを活かす（ストレングス） <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 個人の属性（性質・性格）、才能・技能、関心・願望、環境</li> </ul> </li> <li>□ その人の持てる力を高める（エンパワメント） <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 内に秘めている力を引き出し強化することで、その人らしく生きることができ</li> <li>➤ 対等だからこそ、その人の持てる力をお互いに高めることができる</li> </ul> </li> <li>□ その人の権利を守る支援をする（ピアアドボカシー） <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 当事者が自分の権利に気付き、自分の人生に影響を与えるような決定を自分でできるように支援する</li> </ul> </li> </ul>

## 東京都障害者ピアサポート研修 専門研修 概要

## 4 ピアサポートの専門性の活用

## 伝えたいこと


## 講義の構成

ピアサポートの専門性の活かし方を  
具体的な例から学ぶ

- ピアサポーターの専門性の基盤は経験だが、経験をそのまま伝えるだけでは、当事者に意図したように受け取られるとは限らない。
  - 当事者の状況を感じながら言葉にしてみるスキルが求められる
- ピアサポーターの専門性を活かせる「経験を言葉にしてみる」方法の例
  - 明確な意図を持って経験を伝える。  
当事者の状況に応じて自分の経験の引き出しから適切なものを選ぶことが重要
  - (例①) 「自分も障害がある」「手帳を持っている」  
⇒ 偏見を持たれるのでは、と手帳の取得に躊躇していた当事者の背中を押すかもしれない
  - (例②) 困難な時期のエピソードを伝える  
⇒ 困難な状況から一歩踏み出す勇気を与えることができる
  - (例③) 生活での知恵や困りごとを伝える  
⇒ 同じ病名でも生活に表れる困難は人それぞれだということを実感し、自分らしく生活することについてポジティブに考えられるようになる
- 当事者の権利を守るため、外部への伝え方を一緒に考える。  
(例) 主治医から十分な説明を受けるための質問の尋ね方を一緒に考える
- 当事者が言葉にしづらいことを口に出せるようにサポートする。  
(例) GHの利用ではなく一人暮らしを希望する当事者の気持ちを汲んで周囲と一緒に伝える

## 東京都障害者ピアサポート研修 専門研修 概要

## 【演習②】5 ピアサポートの専門性の活用の振り返り、気づきの共有

<h2>獲得目標</h2>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ストレングスなどの重要な視点を確認した上で、自身の経験の効果的な伝え方を学ぶことで、ピアサポートの専門性の活かし方を理解する。</li> </ul>
<h2>設問</h2>	<p>□ 事例検討</p> <p><b>グループ演習③事例検討</b></p> <p>Rさん 男性 45歳      診断は統合失調症。父親は5年前に病死しており、70歳になる母親と二人暮らし。近所に兄家族が住んでいる。27歳で初診入院（医療保護入院）。以後3回の入退院を繰り返し、現在に至る。半年前から就労継続支援B型事業所を利用している。障害年金（2級）、事業所の工賃が本人の収入。</p> <p><b>&lt;ディスカッション&gt;（例）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Rさんはどういう人でしょう。想像してみましょう。</li> <li>・ RさんのストレングスとRさんの環境のストレングスを見つけてみましょう。</li> <li>・ <b>Rさんのニーズをアセスメントしてみましょう。</b></li> <li>・ Rさんに伝えたいあなたの経験を考えましょう。</li> <li>・ Rさんへの支援として思いつくことを話し合ってみましょう。</li> </ul> <p>言い換え：      「Rさんの思いに寄り添いながら、どんな支援が必要か考えてみましょう」</p> 

⇒ファシリの留意点についても、是非ご意見お聞かせください。

## 東京都障害者ピアサポート研修 専門研修 概要

## 6 関連する保健医療福祉施策の仕組みと業務の実際

獲得目標	●関連する保健医療福祉施策の歴史や仕組みを学ぶことで、ピアサポーターが雇用される障害福祉サービス等の歴史や現状、その仕組みなどを理解する。
------	---

時間	40分
対象	ピアサポーター

## &lt;伝えたいこと&gt;

- ・精神保健医療福祉サービスで働く上での基本的な知識を学ぶ。
- ・精神科に係る保健・福祉・医療の各々の制度的成り立ちを知る。
- ・各分野での実際の業務に触れる。

出所：平成30年度 厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業（身体・知的分野））  
障害者ピアサポートの専門性を高めるための研修に関する研究 専門研修テキスト

各障害共通言語へ

## &lt;伝えたいこと&gt;

- ・関連する保健医療福祉制度において働く上での基本的な知識を学ぶ。
- ・関連する保健医療福祉の各々の制度的成り立ちを知る。
- ・各分野での実際の業務に触れる。

# 東京都障害者ピアサポート研修 専門研修 概要

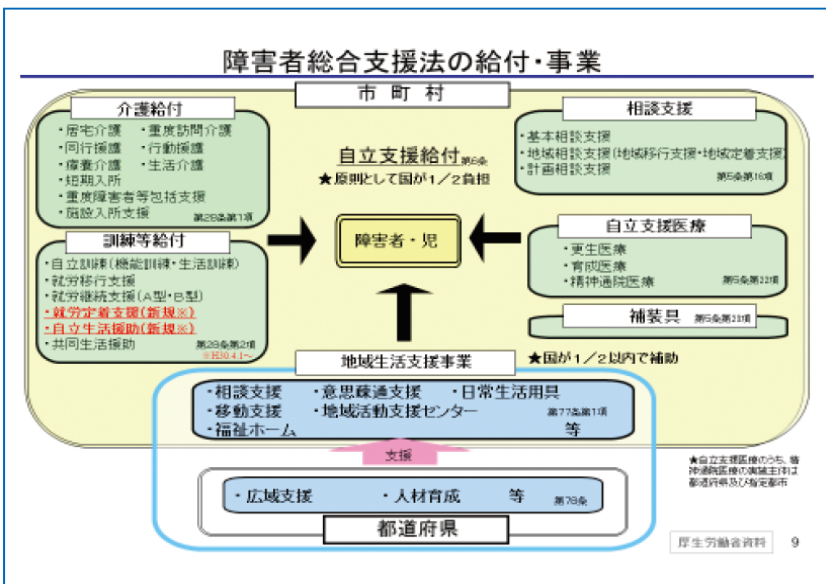
## 6 関連する保健医療福祉施策の仕組みと業務の実際

伝えたいこと

関連する保健医療福祉制度において働く上で  
 の基本的な知識を学ぶ。  
 関連する保健医療福祉の各々の制度的成り立ちを知る。

講義の構成

- 関係する法律や制度
  - 障害者総合支援法、障害福祉計画、医療計画
- 関係する主な事業や機関の仕組み
  - 保健・・・精神保健福祉センターなど
  - 医療・・・通院による治療と入院による治療  
 通院と併用することで医療と生活をつなぐデイ・ケアや訪問看護などのアプローチもある
  - 福祉・・・法に基づく障害福祉サービスや地域生活支援事業



出所:平成30年度 厚生労働科学研究費補助金(障害者政策総合研究事業(身体・知的分野))  
 障害者ピアサポートの専門性を高めるための研修に関する研究 基礎研修テキスト(第3版)2019年 3月

## 東京都障害者ピアサポート研修 専門研修 概要

### 6 関連する保健医療福祉施策の仕組みと業務の実際

伝えたいこと

講義の構成

各分野での実際の業務に触れる。

#### □ 業務の実際

- 業務の「実際」ということで、ピアサポーターの業務上の役割や、経験者の苦労話、失敗事例も含めて紹介できると良い。

(例)

ア) 精神科医療機関におけるデイ・ケア (表5)

機関の役割	グループによるプログラム活動を中心に、精神障害者が地域で生活していくうえで役立つ、病気やその治療に関する知識を学んだり、基本的な生活習慣を身に付けていくための機関です。
主に勤務する職種	利用者の人数に応じた配置基準 (3名~6名) があり、主に医師、保健師、(看護師)、作業療法士、精神保健福祉士、臨床心理技術者等がいます。
業務時間の目安	標準実施時間は6時間と定められています。また、デイ・ナイト・ケアとして10時間、ショート・ケアとして3時間といった標準実施時間もあります。 例) 出勤・スタッフミーティング: 8時30分~9時00分 午前のプログラム: 9時00分~12時00分 昼休み: 12時00分~13時00分 スタッフミーティングや記録の作成等: 15時00分~17時00分 (退勤)
業務内容の例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムの企画・運営 (例: SST、服薬教室、料理、ヨガ等)</li> <li>・プログラム実施記録の作成</li> <li>・面接による相談や役所等への同行など個別支援</li> <li>・個別支援記録の作成</li> <li>・ニュースレターや月間予定表などの作成</li> <li>・関係機関との連絡調整や会議等への出席</li> </ul>

エ) 指定一般相談支援事業所 (表8)

機関の役割	主に精神科病院や施設などに1年以上入院や入所している人が、住居を確保し、地域で安定した生活を継続できるように関係機関との連絡調整を図りながら退院・退所することを目的とした機関です (地域移行)。また、一人暮らしなどをしている障害者に対して常時連絡をとることが出来る体制を確保し、緊急時の必要に応じて訪問するなどの支援をおこない、地域生活を継続することも目的としています (地域定着)。
主に勤務する職種	相談支援専門員の配置が必須です。
業務時間及び業務内容の例	例) 出勤・スタッフミーティング: 8時30分~9時30分 A病院に訪問し面接による相談 (移動を含む): 9時30分~12時00分 昼休み: 12時00分~13時00分 B病院に訪問し、福祉サービスマン事業所見学のための外出同行支援 (移動を含む): 13時00分~16時30分 事業所で支援記録等の作成: 16時30分~17時30分 (退勤)

## 東京都障害者ピアサポート研修 専門研修 概要

## 【演習③】7 関連する保健医療福祉施策の仕組みと業務の実際の振り返り、気付きの共有

<b>獲得目標</b>	<p>●ピアサポーターは多様なサービスにおいて配置されているが、どのような障害福祉サービスがあるのかを具体例を通して理解する。また、それぞれの事業において、ピアサポーターがどのように活躍しているか、活躍ができるかを検討する。</p>
<b>設問</b>	<p>□以下の点について、グループで意見交換をしてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「自分だったら、この機関（事業所）で働いてみたい」というところがありますか？</li><li>・自分自身が利用したことがなかったり、あまり知らないサービスについて、詳しく知るにはどうしたら良いでしょうか？グループ内で情報を共有してみましょう。</li></ul>

⇒ファシリの留意点についても、是非ご意見お聞かせください。